



Article Manual for Creation Zirconia Ceramic

クリエーション ZI-F 販売元 有限会社ファクト
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-7-1004 TEL 03-5304-9310 FAX 03-5304-9312
e-mail info@fact-creation.com URL <http://fact-creation.com>



WILLI GELLER
Creation

ジルコニア用陶材 クリエーション ZI-F 商品説明書

フレームシェード

クリエーションのジルコニアセラミックのシステムには、フレームシェードというオパークライナー材があります。不透明の強い色調調整材ですので、築盛スペースが少ない場合は、反射が強く、フレームの明度が上がり過ぎてしまうことがあります。ほとんどの症例でフレームシェードではなく、インノバを使用し彩度調整しています。

■カラーバリエーション (フレームシェード)

- FS-1 A1, A2, B1, B2, C1 に使用
- FS-2 A3, A3.5, B3 に使用
- FS-3 C2, C3, D2, D3, D4 に使用
- FS-4 A4, B4, C4 に使用
- FS-IL イリュージョン (バイオレット)。

■カラーバリエーション (インノバ)

- IN-1 ライトピーチ (light peach)
- IN-2 サーモンピンク (salmon pink)
- IN-3 サンバーストイエロー (sunburst yellow)
- IN-4 ライトブラウン (light brown)
- IN-5 ゴールデンレッド (golden red)
- IN-6 マスタード / オリーブ (mustard/olive)
- IN-7 ラベンダー / バイオレットグレー (lavender/slate)
- IN-8 ペリウィンクル / ブルー (periwinkle)
- IN-9 ホワイト (white)
- IN-10 イエロー (yellow)

■インノバ塗布の注意点

アルミナ及びジルコニアフレームの彩度調整に、メタルセラミックで使用しているインノバを使います。よく使用するのはインノバ5番です。これをシェードガイドと照らし合わせながら、A1のように彩度が低い場合は薄めに、彩度が高い場合は濃く塗布します。インノバ単体をユニバーサルリキッドで練和し塗布するだけで、透明陶材なども使用しません。ブリーチシェードなど彩度の低い症例でも、陶材との馴染みが良くなりますので、一度はインノバを塗布し焼成して下さい。

インノバ



ジルコニアフレームの彩度調整



インノバをユニバーサルリキッドで練和し、シェードガイドなどを参考に彩度を合わせる。この時の色ムラはクラウンの色調にほとんど影響しないので、色ムラは気にせず作業を進めます。歯頸部の溜まりには特に気を付けて下さい。溜まりは気泡の原因となります。リキッドが多すぎると溜まりができやすくなります。

デンティン

クリエーションのデンティンはVITAルーミンシェードに合わせています。他社陶材のデンティンと比較すると、透明度が低く鮮やかなのが特徴で、これによってクラウン内部から明度を高くすることができます。逆に明度を下げたい場合は透過性の高いトランス（UCやCL-0）を混ぜれば下げることができます。臨床でクラウンの明度を少しでも上げたいと感じている方にとって、クリエーションのデンティンは大きな助けになります。

■カラーバリエーション

D-A1 ~ D-D4

■カラーバリエーション（ブリーチシェード）

BD-A A1より彩度が低く、A0に該当します。

BD-B B1より彩度が低く、B0に該当します。

BD-B0 BD-Bより彩度が低く、その白さから明度も高くなっています。

エナメル

クリエーションのスタンダードエナメルとして、明度が高いものから低いものまであります。デンティンの指状構造部などに使用します。57から60になるにつれ、白く明るい色からトーンの低いややグレーっぽい色になっています。選択基準はVITAシェードに応じたチャート表がありますので、参考にして頂ければ良いのですが、皆さんの経験から症例に応じて自由に選択出来るようになると、その表現の幅も広がります。

■カラーバリエーション

E-57 A1やB1の切縁領域の象牙質などに使用する白いエナメル。

E-58 A2やA3の切縁領域の象牙質などに使用するエナメル。

E-59 A3.5やA4の切縁領域の象牙質などに使用するエナメル。

E-60 臼歯部の切縁領域の象牙質などでトーンを落とすために使用するエナメル。

■カラーバリエーション（ブリーチシェード）

S-AB E-57より彩度が低く、白いエナメル。

デンティン



エナメル



ブリーチシェード



WILLI GELLER
Creation

オペーシャスデンティン

クリエーションのオールセラミックのシリーズにはVITA シェードのオペーシャスデンティンがありません。このオペーシャスデンティンは口腔内でより鮮やかな発色をするオペーシャスデンティンです。蛍光性を持っており、症例に応じてサービカルやポンティックの基底面、下部鼓形空隙、臼歯の咬合面、舌側などに使用すると、スペースの限られた条件下でも歯肉と調和した鮮やかな仕上がりになります。

■カラーバリエーション

- OD-32 ハバナ (havana)
A2, A3 の歯頸部色に相当し、サービカルやポンティックの基底面、臼歯の咬合面などに使います。
- OD-37 カリー (curry)
B4 のようなイエロー系のオレンジです。歯根部に見られる様な明るく彩度の高いODです。
- OD-41 オレンジ (orange)
赤みのあるオレンジで、明るく彩度の高いODです。OD-37 と 1:1 位で混ぜると、A3.5 位のサービカルやポンティック、咬合面などに使えます。
- OD-43 アイボリー (ivory)
中切歯の中央部に見られる明度の高いエリアなど、明度を上げたい場合に役立ちます。唇側中央部のデンティンの下層に築盛すると。明度のメリハリがでます。
- OD-44 カリー (curry)
C4 の歯根部のようなグレーがかかったオレンジです。

ネックデンティン

フレームシェード (FS) を使用した場合、反射が強く明度が上がり過ぎます。その明度を下げるために、デンティン築盛前にフレーム全体をネックデンティン (暗めのデンティン) で覆います。インノバ使用の場合は、ネックデンティンを使う必要はありません。

■カラーバリエーション

- HD-01 A1, B1, C1, C2 に使用
- HD-02 A2, A3, B2, D4 に使用
- HD-03 A3.5, B3, B4, C3, D2, D3 に使用
- HD-04 A4, C4 に使用

オペーシャスデンティン



ネックデンティン



ショルダーポーセレン

クリエーションのショルダーポーセレン (SP) には高い蛍光性があり、その繊維光学効果によって、クラウンに入射した光を歯根に導き、歯頸部領域を明るくします。歯肉からクラウンにかけて明るく自然で移行的な修復は、クリエーション最大の魅力とされています。

■ショルダーポーセレンの使用方法

《SPの築盛量について》

クリエーションのショルダーポーセレンはそれだけでカントウアを作るように大きく築盛します。大きなショルダーポーセレンは光をコントロールし、歯頸部領域をより鮮やかに見せます。デンティン築盛の前にマージンが合っていない場合も、必ずデンティン焼成によって収縮するので、ショルダーポーセレンは二回の焼成で一時中断し、最終的なマージン調整はグレースの段階で行います。

メタルセラミックのポーセレンマージンの場合には不透明なショルダーポーセレンと透明なショルダーポーセレンを二層で築盛しますが、ジルコニアの場合にはメタルの先端を隠すようなことがないので、基本的に透明なショルダーポーセレン (SP21 ~ 25) だけで問題ありません。

《サービカル陶材として》

メタルセラミック用のショルダーポーセレンと違い、サービカルとして使用することができます。オペーシャスデンティンの5色以外に欲しい色があった場合、ショルダーポーセレンを使用することが出来ます。

《模型からうまく抜く方法》

支台模型に硬化剤を塗布した上で、分離材 (クリアペン) を塗布します。ショルダーポーセレンは分離効果を高めるショルダーリキッドで練和します。築盛後にファーネスの炉口やドライヤーで軽く乾かし、表面がやや白く粉っぽくなった段階で抜き取ります。

《マージンのリペア》

グレースの段階でのマージン調整は、SPにKMまたはGLやHTを4:1で配合し盛り足します。これらを混ぜることで、アドオンとして融点の低い陶材にすることができます。焼成はグレースと同時にグレースのスケジュールで行います。

■カラーバリエーション

- SP-21 ニュートラル
- SP-22 フラミンゴ
- SP-23 サンド
- SP-24 ゴールド
- SP-25 ブラウンレッド
- SP-28 オペークイエロー

■カラーバリエーション (ブリーチシェード)

SP-AB VITA シェードのAやB系のブリーチシェードに対応したSPです。

ショルダーポーセレン



クリアペン



WILLI GELLER
Creation

ジルコニア用陶材 クリエーション ZI-F 商品説明書

トランス

■カラーバリエーション

- CL-0 クリアートランス
単体で使用してもいいですが、使用量が多いと明度を下げてしまいますので、慎重に使用して下さい。他の陶材を柔らかい表現に変えたい時に CL-0 を混ぜて使用する方法もあります。
- UC ウルトラクリアー／ウィンドウ
クリエーションで最もクリアな陶材です。デンティンやエナメルの透明度を上げたい時に混ぜて使用します。CL-0 同様に使い過ぎは明度を落としますので、ご注意下さい。
- OT オパールトランス
青みがかった乳白色の、柔らかなオパール効果が得られます。クラウン全体に被せると明度が下がることがありますので注意して使用して下さい。
- NT ニュートラルトランス
NT はモディファイイングトランスです。エナメルの透明度を上げる為に「E58 + NT (4 : 1)」といったように、異なった比率でエナメルなどと混ぜ合わせるなどして使用します。

トランスインテンシブ

5種類の個性的なカラートランスです。焼成の繰り返しによる色落ちが少なく、安定した焼き上がりになります。各色とも強過ぎないオパール効果を持っており、場所を選ばず自由に築盛できます。

■カラーバリエーション

- TI-1 ブルー (blue)
天然歯に見受けられる柔らかい青みがかった乳白色を表現します。
- TI-2 ホワイト (white)
明るく霜が降りたような柔らかい白さを表現します。
白帯にもよく使い、PS-0 や PS-1 などと混ぜても効果的です。
- TI-3 ピンク (red)
若年層に見受けられるような、柔らかい赤みの透明層を表現します。
- TI-4 フラミンゴ (yellow)
老年代に見受けられるイエローオレンジ系のトランスです。色味は弱いので、強い発色が必要な場合はHT (ネックトランス) を使用して下さい。
- TI-5 グレー (grey)
切縁領域における内部トランスとしてトーンを落としたい部分や、抜けているかのような透明感を表現したい時に、TI-5 単独または TI-1 や OT, SI-02, SO-10 などと混ぜて柔らかなグレーゾーンを表現します。発色が強いので使い過ぎには注意して下さい。

トランス



トランスインテンシブ



エナメルインテンシブ -Enamel Intensiv-

SI-02 から SI-06 になるにつれ透明度は変わりませんが、白っぽく色味のないものから、彩度の高いオレンジイエローになります。程良い不透明さがあるため、表層に薄く一層使用すると、クラウンに力強さが出ます。

■カラーバリエーション

- SI-02 ミディアムイエロー (medium yellow)
- SI-04 ライトオレンジ (light orange)
- SI-06 ヘビーオレンジ (heavy orange)

パールエナメル -Pearl Enamel-

パールエナメルは真珠のような輝きと光沢を持ち、ホワイトニングした歯にも合う鮮やかな白さを表現できる陶材です。前歯部の表層に薄くかぶせるように使用すると、柔らかな輝きを持った白さを表現できます。また、臼歯の咬頭に PS-3 を使用するのも効果的です。

■カラーバリエーション

- PS-0 ホワイト (white)
- PS-3 オレンジ (orange)

エフェクトエナメル -Effect Enamel-

エフェクトエナメルはブルーとオレンジのエナメルモディファイヤーです。S0-10 は単独で使用し、インサイザルの青っぽい透明感を表現したり、イリュージョン (IN-7) の上に薄く被せたりします。また、TI-5 と混ぜるなどして、抜けすぎず程よく落ち着いたブルーグレーの表現はインサイザルエリアでとても効果的です。S0-11 はオレンジでも赤みのあるオレンジで、アクセントとして有効です。

■カラーバリエーション

- S0-10 ブルー (blue)
- S0-11 オレンジ (orange)

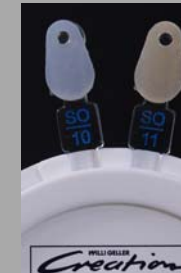
エナメルインテンシブ



パールエナメル



エフェクトエナメル



WILLI GELLER
Creation

ネックトランス

HT はオレンジ系のトランスで、飴色のように深みがあり、透明感も強い陶材です。蛍光性が高く、多めに使用しても暗くなりにくいのが特徴です。主に歯頸部領域に使用し、大きく築盛することで明るく歯肉からの移行的な表現ができます。また HT-53 などはインサイザルの内部などにアクセントとして使用してもきれいです。サービカルトランスとして使用する場合、VITA シェードに対応したチャート表がありますので、参考にして下さい。

■カラーバリエーション

- HT-51 虹色 (iridescent)
クリアトランスとして使用した場合、暗くなりにくいので、インサイザルにストレートで使用したり、他の陶材に透明感を持たせるために混ぜて使用しても良い効果が得られます。
- HT-52 カーキ (khaki)
イエロー系のオレンジで、A2 や A3 の歯頸部によく使用します。
- HT-53 サンド (sand)
赤みのあるオレンジで、A3.5 の歯頸部や切縁のトランスとして使用します。
- HT-54 ハニー (honey)
イエロー系のオレンジで彩度が強く、A3.5 や A4 の歯頸部によく使用します。

ジンジバル

オペーシャスデンティンのように不透明で、明度も高い G6 や G1 は赤みが強く、健康的な歯肉を表現するのに大きな役割をします。症例に応じ、デンティンなど陶材やインノバを混ぜて使用し、色に変化をつけることもできます。追加築盛で融点を下げたい時は、HT や OD, GL を混ぜて使用して下さい。

■カラーバリエーション

- G1 パープル (purple)
G2 ダークピンク (dunkerosa) ※旧、ZF-DR
G3 ライトピンク (hellrosa) ※旧、ZF-HR
G4 フラミンゴ (flamingo)
G5 ローズ (rose)
G6 ダークピンクオペーク (dark pink opaque)
G7 バイオレット (violet)
GN ニュートラル (neutral)

ネックトランス



HT51

ジンジバル



メイクイン

オペーシャスデンティンよりも不透明な陶材です。明るいマメロンを模倣するのに役立ちます。また、スペースの限られた舌側などでも発色が強いので、鮮やかな色調表現が期待できます。マメロンに使用する時、単独で使用すると発色がかなり強いので、デンティンやエナメル、SIなどと（1：1で）混ぜて使用すると使いやすくなります。

■カラーバリエーション

- MI-61 アイボリー (ivory)
- MI-63 ハニー (honey yellow)
- MI-65 ゴールド (gold)

アプロキシマルデンティン

アプロキシマルデンティンは、下部鼓形空隙用に開発された特殊陶材です。歯間乳頭を暗くさせないために、程良い不透明さを保ちながら、蛍光性を持たせ、光をコントロールするという、新しいコンセプトの陶材です。インサイザルヘイローに使用しても良い効果が期待できます。

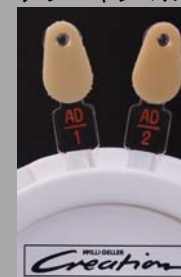
■カラーバリエーション

- AD-1 ライトイエロー (light yellow)
- AD-2 オレンジ (orange)

メイクイン



アプロキシマルデンティン



WILLI GELLER
Creation

ジルコニア用陶材 クリエーション ZI-F 商品説明書

修正用陶材

GLはデンティンやエナメルなどの陶材とは成分が異なり、表面ステインに近い材質のものです。それに対し、KMはデンティンやエナメルなどの陶材に近い材質で、いわゆる低融陶材です。GLよりKMの方が強度があります。しかし、GLもKMも熱膨張係数が小さいために大きな修正に使用することはできません。使い過ぎに注意して下さい。

■コレクションパウダー KM -Correction Powder-

焼成温度が690℃の低融陶材です。グレース後のわずかな修正に使用することも可能です。単独での使用も、デンティンやエナメルなど他の陶材と混ぜて使用することも可能です。KMに色味はなく、ニュートラルトランスのような透明度です。

KM 焼成温度の例)

デンティンやエナメルが810℃、KMが690℃。

これを1:1で混ぜると、750～760℃位になります。

4:1と、KMを少なめにした場合、780℃位が適当な焼成温度となります。

■グレース GL -Glazing Pouder-

GLは追加したい陶材の融点を下げて、アドオン陶材にするための調整材料です。ポーセレンの表面を滑沢にする材料ではありません。また、他の陶材とは違い、それ単体では全く強度がありません。追加したい陶材、例えばデンティンのアドオン陶材を作りたい場合、デンティンに20～30%のGLを混ぜます。これを、追加焼成として、またはグレースの段階で焼成します。追加する量が多い場合は真空を引いて下さい。追加する量が少なく、グレースとして仕上げたい場合は、真空を引かず、そのままグレースのスケジュールで焼成して下さい。

コレクションパウダー



焼成温度 690℃

熱膨張係数 9

グレース



焼成温度 820℃

熱膨張係数 -

FARBTABELLE/COLOR CHART-PRICE LIST

商品構成／価格表

ジルコニア用陶材	クリエーションZI-F 価格表																Creation ZI-F	
VITA Shade	A1	A2	A3	A3.5	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D2	D3	D4		
Dentine 20g	D A1	D A2	D A3	DA3.5	D A4	D B1	D B2	D B3	D B4	D C1	D C2	D C3	D C4	D D2	D D3	D D4		
Transition Dentine 20g	TD A1	TD A2	TD A3	TD A3.5	TD A4	TD B1	TD B2	TD B3	TD B4	TD C1	TD C2	TD C3	TD C4	TD D2	TD D3	TD D4		
Enamel 20g	E57	E58	E58	E59	E60	E57	E59	E59	E59	E60	E59	E59	E60	E60	E59	E59		
Opaque Dentine 15g	OD-32 habana			OD-37 curry			OD-41 orange			OD-43 ivory			OD-44 cuba					
Clear 20g	CL-0						UC window						ZIのみ					
Transpa 20g	NT neutral		OT opal		TI-1 blue		TI-2 white		TI-3 pink		TI-4 yellow		TI-5 grey					
Effect Enamel 20g	PS-0 white		PS-3 orange		SI-02 medium yellow		SI-04 light orange		SI-06 heavy orange		SO-10 blue		SO-11 orange					
Neck Transpa 15g	HT-51 iridescent			HT-52 khaki			HT-53 sand			HT-54 honey								
Shoulder 15g ● ZIのみ	SP-21 neutral		SP-22 flamingo		SP-23 sand		SP-24 gold		SP-25 red brown		SP-28 opaque yellow							
Make In 15g ■ ZIのみ	MI-61 ivory				MI-63 honey yellow				MI-65 gold									
Approximal Dentine 15g	AD-1 light yellow						AD-2 orange											
Gingival 15g ● ZIのみ	G1 purple	G2 dark pink	G3 light pink	G4 flamingo	G5 rose	G6 dark pink opaque	G7 violet	GN neutral										
Glaze/Low Fusing GL10g/KM20g	GL glaze						KM Collection Powder						ZIのみ					
Bleach Dentine 20g	BD-A DA1より1ランク低い彩度				BD-B DB1より1ランク低い彩度				BD-B0 DB1より2ランク低い彩度									
Bleach Enamel Bleach Shoulder ● S-AB20g/SP-AB15g	S-AB E57より1ランク低い彩度						SP-AB SP21より1ランク低い彩度						ZIのみ					

単品

表示価格は消費税別です。

〈ZI, ZI-F/単品;税別〉	〈定価〉
無印	5,800円
★印	6,200円
●印	6,900円

STARTER KIT ★STARTER KIT は単品で自由に組み直すことができます。

〈ZI-F/A2set〉
定価 53,500円
DA2、E58、OD32、SI02、TI1、HT52、InNova5、MF50ml、UF25ml

〈ZI, ZI-F/A1-A2-A3set〉
定価 152,800円
DA1・A2・A3、E57・58・60、OD32、SI02・04、PS0、TI1・2・5、HT51・52・53、SP21・22・24、S010、GL、KM、InNova5、MF50ml、UF25ml、SPL25ml

〈ZI, ZI-F/ABset〉
定価 218,900円
DA1・A2・A3・A3.5・B1・B2・B3、E57・58・59・60、OD32・37・41・43、SI02・04・06、TI1・2・4・5、HT51・52・53・54、UC、MI61・63・65、SP21・22・24・25、PS0・3、S010、GL、KM、InNova5、MF50ml、UF25ml、SPL25ml

FULL KIT

〈ZI, ZI-F/KIT-1〉
定価 280,000円
Dentine、Enamel、NeckDentine、FrameShade、Trans、Glaze、MF50ml×2、UF25ml

〈ZI, ZI-F/KIT-2〉
定価 140,000円
Shoulder、MakeIn、NeckTrans、OpaqueDentine、EffectEnamel、ApproximalDentine、Gingival、MF25ml×2、UF25ml、SPL25ml

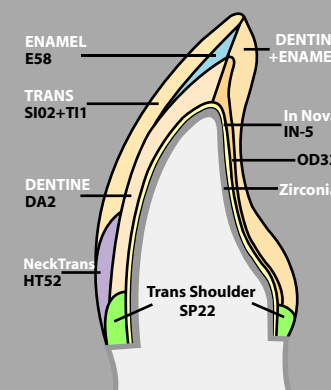
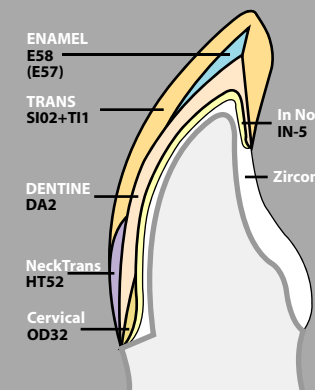
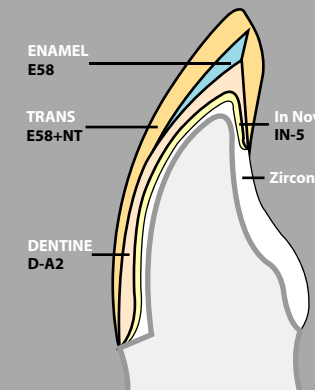
〈ZI-AV共通カラーガイド〉
KIT-1 定価 23,000円
KIT-2 定価 21,000円



築盛構成表		WILLI GELLER <i>Creation</i> ZI-F															
VITA Shade	A1	A2	A3	A3.5	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D2	D3	D4	
Opaque Dentine	OD32 +OD43 (1:3)	OD32	OD32	OD37 +OD41 (1:1)	OD37 +OD41 (1:2)	OD43 +PS0 (4:1)	OD32 +OD43 (1:1)	OD32 +OD43 (1:1)	OD37	OD43 +OD44 (4:1)	OD43 +OD44 (2:1)	OD32 +OD44 (1:3)	OD44	OD32	OD37 +OD41 (1:3)	OD-41	
Dentine	DA1	DA2	DA3	DA3.5	DA4	DB1	DB2	DB3	DB4	DC1	DC2	DC3	DC4	DD2	DD3	DD4	
Enamel	E57	E58	E59	E59	E60	E57	E59	E59	E59	E60	E59	E59	E60	E60	E59	E59	
Neck Transpa	HT51 +HT52 (1:1)	HT51 +HT52 (1:1)	HT52	HT52 +HT53 (1:1)	HT53	HT51	HT51 +HT52 (1:1)	HT52	HT52 +HT54 (1:1)	HT51 +HT52 (1:1)	HT52	HT52 +HT54 (1:1)	HT54	HT51 +HT52 (1:1)	HT52	HT52 +HT54 (1:1)	
Shoulder	SP21 +SP22 (1:3)	SP22	SP23 +SP25 (2:1)	SP24 +SP25 (2:1)	SP24 +SP25 (1:1)	SP21 +SP22 (4:1)	SP21 +SP22 (2:1)	SP23	SP23 +SP24 (1:3)	SP21 +SP26 (1:1)	SP22 +SP26 (1:1)	SP25 +SP26 (1:3)	SP25 +SP26 (1:4)	SP22 +SP25 (4:1)	SP22 +SP25 +SP26 (3:1:1)	SP22 +SP25 (3:1)	
Trans	SI02+TI-1 (1:1)																

このチャートは、VITA シェードガイドに沿って基本的な築盛をする際の参考資料です。最表層に SI02+TI1 を混ぜて使用する場合、TI1 の比率が高い程、透明感が強くなり、明度も低くなります。逆に SI02 の比率が高い程、明度は高くなります。

A2 シェードの築盛例



WILLI GELLER *Creation*

焼成スケジュール（DEKEMA AUSTROMAT D4 使用の場合）

	予備乾燥	釜が閉じる迄	スタート	ヒートレート	真空	焼成温度	係留
Frame Shade (In Nova)	2:00 min	1:00 min	450°C	55°C	100%	910°C	0:30 min
Shoulder	3:00 min	1:00 min	450°C	45°C	100%	860°C	0:00 min
1st Body	4:00 min	3:00 min	450°C	45°C	100%	820°C	0:00 min
2nd Body	3:00 min	2:00 min	450°C	45°C	100%	805°C	0:00 min
Add On	1:00 min	1:00 min	550°C	55°C	100%	750°C	0:00 min
Glaze1	2:00 min	1:00 min	480°C	45°C	0%	805°C	0:20 min
Glaze2	2:00 min	1:00 min	480°C	45°C	0%	790°C	1:00 min

※Add On はグレーズの前段階で、あまり焼き込みたくない場合、陶材の融点に達する直前で温度を止め、仮固定し、グレーズで焼き込む為のスケジュールです。
 マージンの修正が少し多いかなと思った時、コンタクトなどの盛り足しが少し多いかな、と思った時に役立つスケジュールです。



DEKEMA AUSTROMAT D4

WILLI GELLER
Creation

物性データ

Property 物性	Norm 条件	CreationZI-F 数値	Measure 単位
Flexural Strength 曲げ強さ	min.50	90	MPa (Nmm ²)
Solubility 可溶性	max.100	16	μm/cm ²
Density 密度		2.43	g/cm ³
Coefficient Thermal Expansion 熱膨張係数	25-500	9.5±0.3	10 ⁻⁶ ×k ⁻¹
Glass Transition Temperature ガラス化温度		550±10	°C
Dentine Firing ボディ焼成温度		810	°C
Median Grain Size 平均粒子サイズ	D 90%	60	μm

All tested materials conform to standard EN ISO 9693:2000.
The technical and physical values given relate to samples
produced in-house and the measuring instruments located there.